



議会改革を主題に意見を交わす大越委員長、板谷副委員長(左から)と千田准教授(右手前)ら

議会改革で意見交換

釧路 2市議、公立大准教授らと

釧路市議会における議会改革について、議会運営委員長会内の議会改革等検討会議(大越拓也委員長)のメンバーが19日、釧路公立大学を訪れ意見交換した。

同会議は2023年5月、議会活動の充実に向けた調査検討を目的に設置。学識経験者や市民団体代表など外部の有識者と意見を

交わしてきた。この日は大越委員長と板谷昌慶副委員長が同大学を訪れ、千田航准教授ら4人と意見を交わした。

2市議は、議員のオンライン行政視察や質疑・一般質問の発言者数の増、SNSによる情報発信、長期欠席時の議員報酬減額の条例改正などの取り組みを紹

介。4人からは「一般質問の数は市民の声をいかに届けているか議員活動の指標の一つとして重要」「人口減少が進む中、議員定数についても議論が必要」といった意見が上がったほか「学生に役割を与える模擬議会などで政治参加の実感が湧くのでは」「市議に大学の講義を担当してもらっては」などの提案も寄せられた。大越委員長は「次の課題につながる指摘が多く、今後しっかりと検討したい」と話していた。(河辺由記子)